

平成 18 年度政府予算案と平成 17 年度 補正予算案に公明党の主張が反映！

☆児童手当が拡充へ

少子化対策の柱として児童手当が拡充されます。

○支給対象年齢の拡大

現在は「小学3年終了」が「小学6年終了」まで広がります。

対象児童数は約 370 万人増えて 1310 万人になります。

○所得制限の大幅な緩和

サラリーマンなど被用者の場合、現在の年収 780 万円から 860 万円未満と大幅に緩和されます。

自営業者の場合も 596 万 3 千円が 780 万円未満と緩和されます。

・支給率は現在の約 85% から 90% に上昇しますが、公明党は中学3年生まで目指していきます。

☆出産一時金が増額へ

近年の出産費用の実態を踏ま

え(分娩費 36 万円・妊娠出産で

50 万円)こども未来財団調べ)

一時金の増額が公明党の粘り強い取組みで予算案になりました。

○一時金額の増加

現行の 30 万円から 35 万円へ

5 万円のアップ。

○通常国会で予算が成立すれば本年 10 月より実施されます。



年頭「あいさつ」

山口 剛司

皆様におかれましては、健やかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。私は本年も、お一人お一人の声を受け止め、生活者の視点で福岡市政に全力で取組んで参ります。これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。皆様のこの一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

12 月本会議定例会から

福岡市議会の 12 月本会議が 12 月 8 日より開催され山口議員が一般質問に立ちました。

① 通学路の安全確保について

博多湾の環境保全対策について

③ 新・都心構想について④ 外国人

観光客の案内についての 4 点にわたり質疑しました。その内提案も採用されましたので、紹介します。

○ 通学路の安全確保について

広島と栃木で小学 1 年生の殺害事件が発生。山口議員が本市の対策を質問。植木教育長が不審者情報を希望者に配信する県警のメール配信システムの登録促進に取り組む方針を示しました。合わせて住民からの不審者情報を保護者の携帯電話にメール配信するシステムも 06 年度から全小中学校を対象を拡大します。

○ 博多湾環境保全対策について

(西日本新聞 12/10 掲載)
博多湾は閉鎖的水域のため水質の富栄養化が課題となつ

ており、赤潮やアオサの大量発生で水産資源の減少が進んでいます。これまでの環境保全対策は各局長が集まり協議して

いましたが、施策がちぐはぐなため三役が主導するよう要望。

山口議員の質問の結果、山野副市長が座長となり推進することになりました。



— 水質浄化が待たれる博多湾 —

○ 新・都心構想と外国人観光客の案内については、市民・企業行政との共働が必要であると主張しています。

※詳細は福岡市議会ホームページの議会発言をご覧ください。

平成18年度予算編成で 山崎市長に対し237項目の 要望申し入れ

★公明党福岡市議団は昨年11月16日、山崎広太郎市長に対し、平成18年度の予算編成に当たって、市民本位の政策実施を求め、要望書を提出いたしました。要望事項は重点政策145項目、各区の地域施策92項目の合計237項目。主な内容は次の通りです。

1. 健康で快適に生活できる医療・福祉のまちづくり

女性専門病院の充実、医療安全相談窓口の充実、介護保険制度の充実と利用減免制度の創設、障がい者の自立支援と雇用の拡大、1人親家庭への支援策充実強化など

2. 安心して生み育てられるまちづくり

次世代育成支援策の充実、子供の権利に関する条例制定、留守家庭子ども会の充実、子育て支援士登録派遣業の新設、乳幼児医療の充実、子育て夫婦の住宅支援など

3. 子どもたちがいきいきと輝く 学校教育の推進

いじめ・不登校対策の充実、食育の充実、少人数学級の推進、教職員研修の充実、学校評価システムの確立、中期学校運営計画の策定、アスベスト対策・耐震工事の早期完了、子どもの安全対策強化など

4. 文化芸術、スポーツなど多彩な人材が活躍するまちづくり



予算要望書を提出

福岡発の文化芸術振興、市民の文化活動推進、総合型地域スポーツクラブの創設など

5. 自然と共生する循環型都市づくり

環境にやさしいライフスタイル

の促進、リサイクル社会の構築、ヒートアイランド対策の強化など

6. 地域コミュニティの活性化

自治協議会活動の支援強化、コミュニティ活動の拠点支援、多様な人材育成など

7. 男女共同参画社会を推進

仕事と家庭の両立支援、各種機関への女性登用と女性団体への支援強化など

8. 安心・安全のまちづくり

自主防災組織の整備と防災士の育成、公共施設や建築物の耐震強化推進、アスベスト対策の強化、地域防犯の体制強化など

9. 快適な生活環境づくり

安心・快適・歩いて暮らせるまちづくり、都心・副都心の整備、交通マネジメントの促進、水資源対策の推進など

10. 活力ある地域経済の確立と雇用の安定

地場中小零細企業への官公需発注枠拡大、創業者支援策の強化、NPO事業者・21世紀型成長産業育成、若年雇用の支援など

11. 農林水産業の振興、食の安全

全対策の強化

新規就農者支援制度の充実、森林の多様な活用、自然保全型漁業の振興、食の安全の確保、食育運動の推進、都市型農業の推進、遊休農地の活用など



予算要望項目を説明

12. アジアや世界に開かれたまちづくり

コンベンションシティづくり推進、国際競争力ある博多港福岡空港づくり、国際機能強化、草の根国際交流の推進など

13. 行政改革を進め財政健全化

事業仕分けの実施、電子市役所の早期実現、市債の適正管理、補助金の合理化、外郭団体の徹底した統廃合と天下りの是正、経営改革・公共事業の効率化など